

新型コロナウイルス感染防止のため、本誌掲載のイベント・講座などは、変更・中止する場合があります。

もくじ

えび人 vol.42	02	私と海老名 その6	
今号の表紙	03	市民の広場	11
HUGHUG子育て	04	ホール・ギャラリー	12
「情景」「笑顔」市内で撮影した		相談	13
写真を大募集	06	図書館	14

「広報えびな」の共通マークとルール

日日時・日にち 期期間 場時間 場場所 対対象 定定員
 図内容 講講師 費費用 持持ち物 他その他 任任期
 条条件 主主催 Eメール ホームページ 問問い合わせ
 申申し込み 予予約制 祝祝日を除く 休休み

高齢者対象の教室など えびな健康マイレージ対象

市制施行50周年記念事業

市外局番…省略している場合はすべて「046」です
 市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492勝瀬
 175-1海老名市〇〇〇課行」と記入してください
 市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな

文字のバランスがむずかしかったです。
 大谷小学校 成田芽紗さん(10歳)



写真

タイトル：時を感じる橋
 撮影場所：上郷地区
 (上郷水管橋付近)
 撮影者：河原口在住
 桑原美沙都さん



編集雑記

市民のみなさんが撮影した15日号の表紙写真はとても好評です。海老名の四季を感じられるものをと、毎月楽しく、掲載写真を決めています。ことしはどのような写真が届くでしょうか。50周年の海老名の姿を記録と記憶に残していきたいと思っています。たくさんのご応募をお待ちしています。(M)



子育て世代も無理なく楽しく

鈴木さんは、自治会長の熱意に共感して副会長に。「自治会って大変そう、という先入観がありました。やってみると見えてくるものがあり、自分たちの地域を守る仕組みだと気がきました。いろんな職種の方がいて会社では体験できない環境です」と、いろいろなプロが適材適所に配置された組織で楽しいと話します。

無理なく楽しく、をモットーに活動する中、子どもたちにとってはこがふるさとなることにも気付いたという鈴木さん。「空気というか匂いというか。ほっとする、そこしかない風のようなものとしてふるさとの記憶を残してあげたいです」。「地域を守る仕組みだから、堅くならずにみんなで一緒に作っていききたい」。役員会には子連れで出席し、子育て世代が参加しやすい空気づくりも心掛けています。

コロナ禍の今はウグイスの声を背景に在宅勤務を行う一方、多くの同世代の自治会参加を期待して地固めに励む日々です。



無病息災を願う「どんど焼き」はふるさとの風物詩

子どもと参加している役員会は優しくて面白いばかり

今月のえび人

鈴木博文さん
 (国分北在住・47歳)

国分杉本自治会副会長2年目。都内のIT企業に勤務する一児の父。休日は、庭の畑の土いじりで無心になってリフレッシュ。広島県出身。